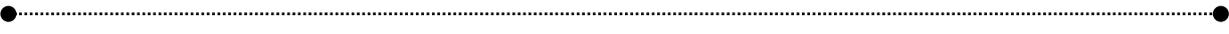


平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	よさこい・いな来い・みな恋フェスタ
事業主体 (連絡先)	信州伊那よさこい乱舞竜. 代表新田ひとみ 電話 090-1867-3390
事業区分	③教育文化の振興に関する事業 ⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,215,217円 (うち支援金: 481,000円)



事業内容

- ① よさこい・いな来い・みな恋フェスタ
よさこいだけでなく、他ジャンルの団体と出会い、交流を深め、お互いをたたえ合うフェスタを開催した。
- ② 「みな恋踊り」体験型レクチャー
郷土の歴史や方言を盛り込んだ、老若男女が気楽に踊れる内容の踊りを体験することで、同じものを一斉に踊る楽しさや醍醐味を味わって頂く場をフェスタ内で実施した。
- ③ 上伊那の木と人が作る鳴子キット
上伊那で育った木を使い、上伊那に住む職人が作るキット、踊り手が自分の使う道具を自ら作ってもらいよさこいになじみ、踊る意欲を高めて頂いた。



【フェスタ風景】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①当初計画していた規模を大きく上回る、参加団体、観覧者、ブース出店者を得る事が出来、大盛況であった。
- ②フェスタに来場した多くの方にご参加頂けた。
- ③鳴子キット販売数 12セット

【目標・ねらい】

- ① フェスタを開催する
- ② よさこい総踊りのレクチャー
- ③ オリジナル鳴子キットの製作

今後の取り組み

- ※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。
- ・今回の開催により得られたフェスタの運営のノウハウや反省を活かし次年度のフェスタを更に充実させ、よさこい祭りの実現に向けて取り組んで行きたい。
- ・郷土の歴史や文化をより身近に感じられるよさこい踊りを創り多くの方に参加してもらうことで楽しみながら郷土愛を深めてもらえる場にしたい。
- ・よさこい祭りを興すことで知名度を上げ、観光客を呼び込み地域の活性化を図りたい。

※自己評価【 A 】

【理由】

当初計画していた規模を大きく上回る参加団体、観覧者を得る事が出来、更に多くのブース出店者を得る事で盛況となった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある